

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 特定非営利活動法人 福祉活動と福祉教育の推進協会 あすなろ

訓練実施施設名: NPO法人あすなろ ふくしの学校 福島駅前教室

問合せ先住所: 〒 5 5 3 - 0 0 0 3
大阪府大阪市福島区福島7-6-4 富川ビル3階 C教室

問合せ電話番号: 06-6451-4400

■土日祝日訓練の有無:

☐ 全日あり / ☐ 一部あり / ☐ なし

■法定講習に係る補講:

☐ あり ☐ なし / ☐ 有料 ☐ 無料

■相モデルによる訓練:

☐ なし

■合同開催による訓練:

☐ あり ☐ なし

訓練の種類	☒	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)			就職を想定する職業・職種 介護職員(高齢者施設・居宅サービス、障がい者施設・サービス)、介護保険施設等事務職員				
	☐	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	☐	託児サービスコース			☐	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)	
	☐	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☐	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入			☐		
訓練科名	介護福祉士実務者研修・同行援護・介護事務習得科								
募集期間(予定)	令和8年11月4日 ~ 令和8年11月24日								
選考日(予定)	令和8年12月3日								
選考方法	☒	面接	☐	筆記試験	☐	その他 ()			
選考結果通知日	令和8年12月10日								
訓練期間	令和8年12月25日 ~ 令和9年6月24日 (6 か月)					(訓練日数 112 日)			
訓練時間	9 時 30 分 ~ 16 時 00 分				訓練定員	15 名			
訓練対象者の条件	なし								
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐	新規学校卒業生	☐	二つ等の若者	☐	障害者			
	☐	被災者	☐	外国人	☐	その他 ()			
訓練目標 (仕上がり像)	高齢者介護・障がい者支援にふさわしい知識と技術を修得し、介護事務を学ぶことによって管理者やリーダーに必要な請求事務、事務管理などについて習得する。また企業実習や職場見学などを通して複数の福祉現場を体験することによって、受講生自身が自分の強みを見いだし、自分に合った福祉の職種を選択できることを本訓練の目標とする。								
訓練修了後に取得できる資格	名称 ()	介護福祉士実務者研修	()	認定機関 ()	NPO法人あすなろ	☐ 任意受検			
	名称 ()	同行援護従業者養成研修一般課程	()	認定機関 ()	NPO法人あすなろ	☐ 任意受検			
	名称 ()	介護事務管理士®	()	認定機関 ()	技能認定振興協会(JSMA)	☒ 任意受検			
	名称 ()		()	認定機関 ()		☐ 任意受検			
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
② WEBデザインの実践における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
③ DX推進スキル標準対応の実践における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)									
訓練内容	訓練概要	高齢者施設や障がい者施設、居宅で介護支援サービスが提供できる技(技術)を習得し、高齢者・障がい者が安心して生活できる福祉の知識や考え方を学び、福祉の現場で即戦力になれるように訓練を行います。また、介護事務の習得により管理者やリーダーとして介護事業の運営の素質も養います。日によって訓練時間が異なります。訓練実施機関にお問い合わせください。【職場見学等推進】							
	科目	科目の内容				訓練時間			
	開講式・オリエンテーション等	開講式・オリエンテーション(3H)・修了式(3H)							
	安全衛生	安全活動、腰痛予防対策、KY活動				2時間			
	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立、利用者情報の取り扱い				5時間			
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度				5時間			
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障がい者総合支援制度、介護実践に関する諸制度				30時間			
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持 自立に向けた介護の考え方や展開、介護福祉士の倫理、個人情報保護法について				10時間			
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全、介護記録ソフト・タブレット記録の活用事例、介護施設における見守りセンサーによる安全確保の事例				20時間			
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション				20時間			
	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ				20時間			
	介護過程Ⅱ	介護過程の展開の実践(介護職による介護過程の進め方、介護過程の実践的展開、施設・在宅で暮らす高齢者の介護過程)				25時間			
	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実践(事例によるアセスメントと実施計画、モニタリングの考え方)				20時間			
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響				10時間			
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病と留意点				20時間			
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障がい、心理・行動の特徴、認知症の人とのかわり・支援の基本				10時間			
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実践				20時間			
	障がいの理解Ⅰ	障がい者福祉の理念、障がいによる生活障がい、心理・行動の特徴、障がい児者や家族へのかわり・支援の基本				10時間			
	障がいの理解Ⅱ	医学的側面から見た障がいの理解、障がい児者への支援の実践				20時間			
	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体仕組みの基礎的な理解(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠)				20時間			
	こころとからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、身体仕組み、心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント、観察のポイント、介護・連携の留意点				30時間			
	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)				38時間			
	同行援護の知識	外出保障、視覚障がい者の理解と疾病、視覚障がい者(児)の心理、視覚障がい者(児)福祉の制度とサービス、同行援護の制度、視覚障がい者の人権、同行援護従業者の実態と職業倫理、情報提供、代車・代談				14時間			
	アングーマネジメントの理解	怒りの理解と衝動、考え方、行動のコントロール				3時間			
	介護事務の知識	介護保険制度、介護報酬の算定理論				12時間			
	就職支援	履歴書・職務経歴書の作成指導、面接試験指導、ジョブ・カードの概要、応募書類をメール送信するときの留意点				8時間			
	実技	生活支援技術Ⅰ演習	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、居住環境の整備と福祉用具の活用の視点				20時間		
		生活支援技術Ⅱ演習	利用者の心身の状況に応じた介護、福祉用具の活用、環境整備(生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期介護))				30時間		
		介護過程Ⅲ演習	介護過程の展開の実践、介護技術の評価				25時間		
		こころとからだのしくみⅡ演習	人間の心理、人体の構造と機能、身体仕組み、心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント、観察のポイント、介護・連携の留意点				30時間		
医療的ケア演習		喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習 ※練習用シミュレーター人形による演習となります				24時間			
同行援護の演習		誘導の基本技術、誘導の応用技術、交通機関の利用				16時間			
介護事務の演習		介護報酬の算定演習				18時間			
企業実習	☐	実施しない	☒	実施する	10時間				
職場見学、職場体験、職業人講話	【職場見学】	「介護老人福祉施設：施設における一日の業務の流れ、利用者への介護サービスの提供状況、職員間の報告・連絡・相談及び多職種連携の見学(3時間)」 「認知症対応型共同生活介護：認知症のある利用者への日常生活支援、コミュニケーション方法、職員の役割及び支援記録の活用状況の見学(2時間)」				5時間			
訓練時間総合計	550時間	学科	372時間	実技	163時間	企業実習	10時間	職場見学等	5時間
受講者の負担する費用	教科書代	0円					合計	400円	
	その他 (交通機関利用演習にかかる費用)	400円							
	備考 (職場見学、企業実習の交通費及び法定講習欠席に係る補講料(2,000円/時間(税込))、レポート補講費(1,000円/項目(税込))は実費								
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	☒	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する						
		☐	オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)	☐	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	☐	オンライン計	時間	
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	現場で指導にあっている講師が講義をするので日々変化する現場の情報を得ることができる。また、企業実習にて現場研修することにより、介護業界の実態を実習することができ、自分の就職の方向性も明確にすることができる。							
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	介護における総合知識や介護における総合実技演習において、全体的な科目内容を概観する、また相モデルで行うことにより、各受講生が苦手にしている箇所を習得することができる。							

訓練実施施設所在地地図	訓練実施施設住所: 〒 553-0003 大阪府大阪市福島区福島7-6-4 宮川ビル3階 C教室
住所: 大阪市福島区福島 7-6-4 宮川ビル3階 アクセス: JR環状線 福島駅 徒歩1分 JR東西線 新福島駅 徒歩3分 阪神電車 福島駅 徒歩3分 受付時間 AM 9:00 ~ PM 6:00 Mail : asunaro@ruby.ocn.ne.jp URL : http://npo-asunaro.com/	

訓練カリキュラム(企業実習用)			
訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間
	生活支援技術Ⅱ 演習	生活サイクルの確認、利用者の生活支援(移動・移乗、食事、清潔保持、排泄、睡眠、整容)	9時間
	安全衛生	衛生管理項目の確認、救急装置の設置場所確認、うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間